

第4回八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会

平成26年12月25日

今後の検討の進め方



◆臭気対策の検討の進め方

○臭気対策の内容整理

協議会の臭気対策技術調査の取組内容を踏まえて
事業主体に求める事項の整理を進める

【主な検討事項】

- ・ 地元の理解が得られるような臭気対策を引き出す
公募案の検討
- ・ 運転開始後に課題が生じた場合の対応のルールを
整理

⇒ 公募要件に盛り込む事項、事業者決定後に締結する
協定で事業者が遵守すべき事項を整理

◆中間整理以降に明らかになった課題

○再生可能エネルギーの系統接続における課題

- ・全国的に、受入可能量を上回るFIT認定で系統制約の問題が顕在化
都内でも一部の島において、既に接続可能量に到達
- ・現在、電力会社等において、接続可能量拡大に向けた技術検討や実証が進められている
- ・現在申込のある他の再エネ（太陽光等）への影響にも配慮する必要

○発電設備用の冷却水確保の課題

- ・現在の地熱発電所では、農業用ため池の水を冷却水として使用
- ・発電方式や設備容量により、現状を上回る冷却水が必要となる可能性

○建設コストの急激な上昇に伴う事業性への影響

- ・オリンピック開催等に伴い、資材価格・労務単価が大幅に上昇し、入札不調が増加

⇒次回検討委員会までに、これらの課題も踏まえた
公募案作成に向けた検討を行う